

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容等によっては、活動場所を分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		車イスの利用者さんへは、二人介助により安全性を確保している。
業務改善	4	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			毎日、支援や活動の事前打ち合わせ、前日の振り返りを行っている。また、毎週1回、支援や活動の週間の打ち合わせと振り返りを行なっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		日頃、児童発達支援管理責任者が保護者の意向など聞き取りをし、必要に応じて業務の改善を行なっている。アンケート調査は今年度より実施予定。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		自己評価、評価の公開は今年度より実施予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事前の研修主旨、目的の確認。 研修後の伝達研修の実施。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			放課後等デイサービス計画作成時は個別支援会議を実施している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムは年間、月間、週間で立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎日の支援や活動の打ち合わせと振り返り。 週1回の週間の打ち合わせと振り返りを実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日、支援や活動の打ち合わせを実施している。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		時間的に当日実施する事ができないので、翌日に実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			1日の業務の中にケース入力の日を設けている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			長期休みには活動で外出の機会を作っている。また、本体入所施設の行事等にも参加し交流の機会を作っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			利用前のアセスメントの段階で、緊急時の連絡先、対応方法などを保護者から聞き取り、書面にしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			サービス担当者会議への参加など、必要に応じ相談支援専門員に依頼している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じ、保護者の了解を得た上で相談支援専門員等に提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡ノートを使用して、日々の様子を保護者と共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約書、重要事項説明書などは誰でも閲覧できる場所に保管してある。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後、親子行事の開催を検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決責任者、受け付け者を配置、契約時に説明している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月の行事予定、年4回の通信を保護者に配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			(社福)松原愛育会個人情報管理規定に従い運営している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			写真や絵カード、ホワイトボード等を活用して、個別の特性に合わせて情報を伝達している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	本体入所施設にて地域住民が参加できる行事を開催しており、そこで放課後デイの活動紹介や作品展示をしている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	マニュアルの策定と職員への周知は実施している。今後、契約書、重要事項説明書とともに誰でも閲覧できる場所にて保管していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	不定期だが、本体入所施設で実施している避難訓練に参加している。今後、定期的に参加していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			本体入所施設で虐待防止研修を実施しており、各職員が年1回必ず参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	本体入所施設と合同で虐待防止委員会を組織している。これまで身体拘束を行った事はない。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			利用前のアセスメントの段階で、アレルギーについて保護者から聞き取りをしている。現在、医師の指示書に基づく対応が必要な児童はいないが、今後、必要に応じ実施していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			